

株式会社ケイケンシステム DX推進ビジョン

2023年3月1日 策定

2025年3月1日 更新

代表取締役 青柳 和男

DX推進ビジョン

1. 社内DX推進による生産性向上

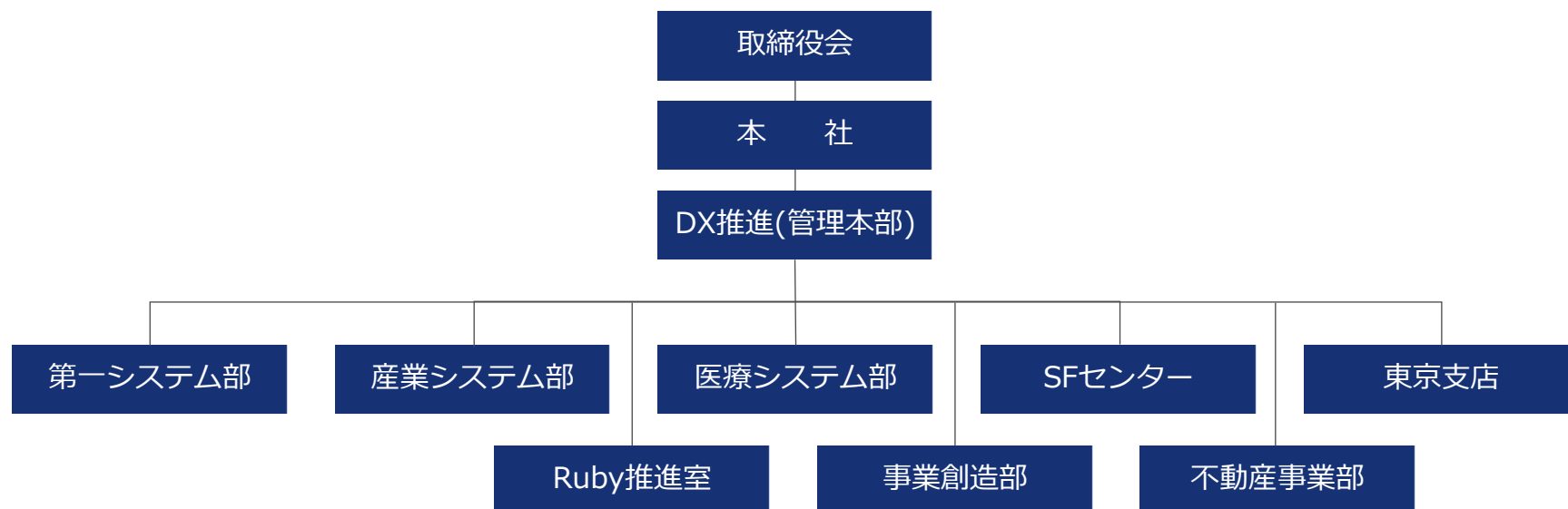
- (1) 会計システム強化による仕訳帳・請求書の電子化対応
- (2) 業務ワークフローの導入によるペーパーレス化、承認フロー改善

2. DX推進人材の育成

- (1) IPA試験制度資格(ITパスポート～システム監査技術者 等)
- (2) サービス系の認定資格(Amazon、Microsoft、Google等)

DX推進の取り組み - DX推進強化における組織編制

※社内システム強化の為、管理本部が中心で進める
管理本部にDX推進体制を構築。社内業務DXに向けシステム強化を迅速に進める体制を構築する。



- ・ 電子帳簿等保存 (電子データ保存) 電帳法
- ・ 業務ワークフロー化
- ・ 給与、勤怠システム連携
- ・ 社内DX教育

DX推進の取り組み－推進計画

DXビジョンに基づく推進項目

1. 社内DXの推進による生産性向上

2. 人材育成

推進計画

(1) 会計システム強化による

仕訳帳・請求書の電子化対応

(2) 業務ワークフローの導入による

ペーパーレス化、承認フロー改善

(1) IPA試験制度資格の取得

(ITパスポート～システム監査技術者 等)

(2) サービス系の認定資格

(Amazon、Microsoft、Google等)

上記計画達成時の指標

1. 社内DXの推進による生産性向上

2. 人材育成

業務削減時間 **5,000分/年間**

資格取得者 **3名**

DX戦略

社内DX推進による 生産性向上

紙媒体での処理をしてきた仕訳帳対応及び請求書作成のデータ化を促進し、会計システムの強化を行います。会計システムの強化に伴い、経理業務の生産性向上させます。
また、ワークフローシステムを導入しバックオフィスから業務改善を推進し、全体最適の上でサービス品質を向上させます。

人材育成戦略

自社のDX推進を図るため計画的な社内人財の育成によるITリテラシー向上と、お客様の業務のDX化促進のためにクラウドサービスの認定資格及びIPA認定資格の取得を目指します。

DX推進の取り組み－DXシナリオ

1. 社内DX推進による生産性向上とデータドリブン経営の実践

(1) 会計システム強化による仕訳帳・請求書の電子化対応

会計システムを強化し、紙媒体のアナログ業務になっていた仕訳帳・請求書の作成をデジタル化することで経理業務の作業スピードを上げて、生産性向上に貢献しています。

(2) 業務ワークフローの導入によるペーパーレス化、承認フロー改善

給与システムの強化・連携を行い、紙申請をデータ化されたデジタル情報での業務ワークフロー申請に切替を実施し、処理に掛かる時間を短縮させていきます。

2. 人材育成

(1) DXテクノロジー人材の育成

人材育成の計画に沿った教育を実施します。

(2) 技術認定の資格取得

IPA試験制度資格の取得(ITパスポート～システム監査技術者 等)の資格を取得します。
サービス系の認定資格(Amazon、Microsoft、Google等)の資格を取得します。

DX推進の取り組み－環境整備の具体的方策

当社ではDXの推進のために下記のような環境整備に取り組んでいます。

1. 紙媒体のデータ化によるペーパーレスの推進
2. 会計システムの強化による経理業務の生産性向上
3. 業務ワークフロー導入による社内申請のスピードアップ
4. 計画的なITスキルアップ教育の実施

DX推進の取り組み－今後の情報発信

現在、当社ではITツール導入による紙媒体のデータ化、業務のデジタル化を促進して管理部門の生産性向上を目標に環境整備に取り組んでいます。

仕訳帳や請求書のデータ化は、業務改善だけではなく電子帳簿保存法の対応にも関わるため管理部門の課題として対処していく必要があると認識しています。

業務ワークフロー導入による時間削減は、一定の成果を上げることが見込まれていますが、会社内の業務変革を実現するためにも、管理部門が中心となり課題の抽出・原因の特定、適切な対策の実施に繋げていくことが重要と考えています。

社内業務システムおよびサプライチェーンのデジタル化など、ICT技術を活用することで「効率と生産性を高め、新たな価値を作り出す」取り組みを推進しています。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「当社のDX推進に対する取り組み」として、随時、公開して参ります。